

知多半島医療圏保健医療計画

(最終原案)

文字に影のある部分が、修正部分です。

(目 次)

知多半島医療圏保健医療計画

はじめに	1
第1章 地域の概況	2
第1節 地勢	2
第2節 交通	2
第3節 人口及び人口動態	2
第4節 保健・医療施設	6
第2章 機能を考慮した医療提供施設の整備目標	7
第1節 がん対策	7
第2節 脳卒中対策	14
第3節 急性心筋梗塞対策	21
第4節 糖尿病対策	26
第5節 精神保健医療対策	32
第6節 歯科保健医療対策	39
第3章 救急医療対策	45
第4章 災害医療対策	53
第5章 周産期医療対策	60
第6章 小児医療対策	64
第7章 離島保健医療対策	68
第8章 在宅医療対策	73
第9章 病診連携等推進対策	78
第10章 高齢者保健医療福祉対策	80
第11章 薬局の機能強化等推進対策	84
第1節 薬局の機能推進対策	84
第2節 医薬分業の推進対策	86
第12章 健康危機管理対策	89

知多半島医療圏保健医療計画は、愛知県地域保健医療計画における2次医療圏を単位とした地域計画として、平成4年8月31日に公示しました。

その後、原則5年を目途として見直しを行っており、平成20年から、患者や住民にとってわかりやすい、地域の医療機能に応じた医療提供体制を構築し、住民に対して良質かつ適切な医療の確保を図るため、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4疾病及び救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療の5事業を主とした見直しを行い、現在は平成23年度から平成27年度までの計画となっています。

今回の計画は、現計画の期間中ではありますが、東日本大震災で認識された課題を踏まえ、この地域で起きると予測されている南海トラフ巨大地震を想定した医療提供体制の構築、国が法的に位置づけた精神疾患に対する医療体制の確保、円滑な在宅療養移行に向けた退院支援を含めた在宅医療対策、そして、「愛知県地域医療再生計画」や、「愛知県がん対策推進計画（第2期）」、「健康日本21あいち新計画」などの各種計画と整合性を図るための見直しを行いました。なお、計画期間は平成26年度から平成29年度までの4年間としています。

当医療圏の限りある医療資源を、その機能を十分に発揮できるように医療機関相互の機能分担・連携を進めていくことが重要な課題となっており、こうした中で、平成22年度には、東海市と知多市が両市の病院事業を経営統合し、平成27年度に新病院「公立西知多総合病院」を開院する予定です。

また、半田市と常滑市においては、医療連携等協議会を設置し、病院間の連携協議を進めており、市立半田病院は、平成24年9月24日に「地域医療支援病院」として指定を受け、平成27年度に開院予定の常滑市民病院には、連携支援病床が整備される予定です。

今後も、知多半島圏域保健医療福祉推進会議等において、保健・医療・福祉関係機関及び団体相互の連絡調整を行うことにより、この計画を推進していきます。

第1章 地域の概況

第1節 地勢

知多半島医療圏は、県の南西部に位置し、名古屋市の南部に隣接する半島と篠島・日間賀島を含む5市5町からなっており、伊勢湾と三河湾に囲まれ、気候は温暖で、平年気温は15℃前後、平年降水量は1,500mm前後です。

地質は、中央台地は旧洪積層、西部及び南部は新第三紀層であり、このうち南部は頁岩層けつがんそうをなしています。

この地域は、北中部には、名古屋南部及び衣浦西部の両臨海工業地帯があり、県工業生産において高いウエイトを占めており、今後も基幹産業地帯としての発展が期待されます。

また、従前から、窯業、繊維、食品（とりわけ醸造）等の産業が盛んです。南部地域は農漁業が主体ですが、同時に、恵まれた自然景観を利用した観光、レクリエーション地帯として県民の憩いの場となっています。

平成17年2月17日には常滑沖に中部国際空港が開港されており、本格的な24時間運用が可能な空港として世界各国や国内の多くの都市と結ばれ、国際交流の空の玄関となっています。

第2節 交通

JR武豊線、東海道本線、名鉄常滑線、河和線及び知多新線が、当医療圏内に運行されており、いずれも南北に走行していますが、東西を走る路線はなく、半島内を循環する環状線もありません。

乗合バスは、北部及び中部から南部にかけても知多バスが運行されていますが、一部の路線を除き利用者は減少し、運行回数の少ない路線が多くなっています。

道路は、知多半島道路が名古屋市から半田市を経て南知多町まで南北に走っています。

篠島、日間賀島と半島間の海上交通は、河和・師崎両港から定期乗合船が運行されており、師崎港からは伊良湖への路線が開設されています。

中部国際空港へは、国内線・国際線が多数就航しており、知多半島道路からは半田中央ジャンクションを経由してセントレアラインが整備され、名鉄常滑駅からは中部国際空港連絡鉄道が運行されています。また、三重県方面からは海上からもアクセスが可能です。

第3節 人口及び人口動態

1 人口

当医療圏の総人口は、平成25年10月1日現在620,322人で、年々増加しており、増加率も平成7年からみると県平均を上回っています。（表1-3-1）

平成25年10月1日現在の人口を年齢3区分で見ますと、14歳以下の年少人口は92,531人（構成比14.9%）、15歳から64歳の生産年齢人口は389,721人（構成比62.9%）、65歳以上の老年人口は137,036人（構成比22.1%）となっています。

年少人口の構成比が減少している反面、65歳以上の老年人口の構成比が増加しており、老年人口の総人口における構成比は平成7年の11.9%から平成25年の22.1%へ増加し、人口の高齢化が進んでいます。

人口の高齢化を市町別で見ますと、大府市を除く4市5町では、65歳以上の老年人口の占める割合が20%を超えています。そのうち南知多町では30%を超えています。（表1-3-2）

(参考図表)

表1-3-1 年次・市町別人口 (各年10月1日現在)

区分	平成7年	平成12年		平成17年		平成22年		平成25年	
	実数	実数	増加率	実数	増加率	実数	増加率	実数	増加率
半田市	106,452	110,837	4.1	115,845	4.5	118,828	2.6	117,805	△0.9
常滑市	50,854	50,183	△1.3	51,265	2.2	54,858	7.0	56,404	2.8
東海市	99,738	99,921	0.2	104,339	4.4	107,690	3.2	111,092	3.2
大府市	73,096	75,273	3.0	80,262	6.6	85,249	6.2	87,690	2.9
知多市	78,202	80,536	3.0	83,373	3.5	84,768	1.7	83,916	△1.0
阿久比町	23,890	24,028	0.6	24,577	2.3	25,466	3.6	26,997	6.0
東浦町	42,409	45,168	6.5	48,046	6.4	49,800	3.7	49,869	0.1
南知多町	24,846	23,250	△6.4	21,909	△5.8	20,549	△6.2	19,381	△5.7
美浜町	26,076	26,083	0.0	26,294	0.8	25,178	△4.2	24,579	△2.4
武豊町	38,153	39,993	4.8	40,981	2.5	42,408	3.5	42,589	0.4
当医療圏	563,716	575,272	2.0	596,891	3.8	614,794	3.0	620,322	0.9
愛知県	6,868,336	7,043,300	2.5	7,254,704	3.0	7,410,719	2.2	7,434,996	0.3

資料：平成22年までは「国勢調査」（総務省）
平成25年は「あいちの人口」（愛知県県民生活部）

表1-3-2 市町・年齢3区分人口 (各年10月1日現在)

区分	総人口	0～14歳 (年少人口)		15～64歳 (生産年齢人口)		65歳以上 (老年人口)	
			構成比		構成比		構成比
平成7年	563,716	94,397	16.7	402,140	71.3	66,983	11.9
平成12年	575,272	91,431	15.9	399,861	69.6	83,457	14.5
平成17年	596,891	91,402	15.3	401,827	67.3	102,652	17.2
平成22年	614,794	92,748	15.1	396,246	64.6	124,132	20.2
平成25年	半田市	117,805	14.8	75,003	63.8	25,194	21.4
	常滑市	56,404	14.6	34,212	60.9	13,776	24.5
	東海市	111,092	15.9	70,895	64.0	22,240	20.1
	大府市	87,690	16.2	56,605	64.6	16,846	19.2
	知多市	83,916	14.6	51,884	61.9	19,673	23.5
	阿久比町	26,997	15.6	16,189	60.0	6,572	24.4
	東浦町	49,869	14.7	31,507	63.1	11,093	22.2
	南知多町	19,381	10.1	11,212	57.8	6,227	32.1
	美浜町	24,579	11.8	15,589	63.7	5,983	24.5
	武豊町	42,589	15.1	26,625	62.7	9,432	22.2
	当医療圏	620,322	14.9	389,721	62.9	137,036	22.1
愛知県	7,434,996	14.2	4,681,507	63.5	1,647,063	22.3	

資料：平成22年までは「国勢調査」（総務省）
平成25年は「あいちの人口」（愛知県県民生活部）

注：年齢不詳者がいるため、年齢3区分の合計値とは一致しない。
年齢3区分の構成比は、平成22年以降は年齢不詳者を除いて算出。

2 人口動態

当医療圏における平成24年の出生率（人口千人対比）は9.6で、県平均の出生率9.1と比較すると0.5ポイント高くなっていますが、平成7年の10.3と比べると0.7ポイント減少しています。（表1-3-3）

死亡率（人口千人対比）を見ますと、徐々に高くなり、平成24年の県平均8.3と比較すると0.1ポイント高くなっています。（表1-3-4）

3大死因別死亡率の状況は、悪性新生物の割合が最も高く、3市3町で県の割合を上回っています。（表1-3-5）

（参考図表）

表1-3-3 出生数の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成24年
半田市	1,185(11.1)	1,281(11.6)	1,001(8.6)	1,202(10.1)	1,057(9.0)
常滑市	400(7.9)	427(8.5)	338(6.6)	494(9.0)	505(9.1)
東海市	1,181(11.8)	1,246(12.5)	1,097(10.5)	1,206(11.2)	1,283(11.7)
大府市	914(12.5)	953(12.7)	888(11.1)	1,043(12.2)	999(11.5)
知多市	764(9.8)	897(11.1)	802(9.6)	787(9.3)	708(8.4)
阿久比町	198(8.3)	201(8.4)	184(7.5)	248(9.7)	316(11.9)
東浦町	403(9.5)	421(9.3)	430(8.9)	418(8.4)	401(8.1)
南知多町	188(7.6)	168(7.2)	128(5.8)	136(6.6)	107(5.4)
美浜町	240(9.2)	219(8.4)	178(6.8)	152(6.0)	138(5.6)
武豊町	356(9.3)	456(11.4)	419(10.2)	373(8.8)	411(9.7)
当医療圏	5,829(10.3)	6,269(10.9)	5,465(9.2)	6,059(9.9)	5,925(9.6)
愛知県	71,899(10.6)	74,736(10.8)	67,110(9.4)	69,872(9.4)	67,913(9.1)

資料：愛知県の人口動態統計（確定数）の概況

（ ）は出生率 出生率＝出生数÷人口×1,000（人口は各年10月1日現在）

表1-3-4 死亡数の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成24年
半田市	688(6.5)	714(6.4)	841(7.3)	898(7.6)	982(8.3)
常滑市	446(8.8)	455(9.1)	530(10.3)	569(10.4)	594(10.7)
東海市	525(5.3)	649(6.5)	665(6.4)	766(7.1)	800(7.3)
大府市	379(5.2)	396(5.3)	479(6.0)	569(6.7)	571(6.6)
知多市	389(5.0)	520(6.5)	544(6.5)	608(7.1)	680(8.1)
阿久比町	137(5.7)	148(6.2)	180(7.3)	207(8.1)	228(8.6)
東浦町	244(5.8)	265(5.9)	277(5.8)	334(6.7)	389(7.8)
南知多町	228(9.2)	225(9.7)	238(10.9)	301(14.7)	318(16.1)
美浜町	179(6.9)	196(7.5)	247(9.4)	238(9.4)	243(9.8)
武豊町	224(5.9)	243(6.1)	249(6.1)	323(7.6)	376(8.8)
当医療圏	3,439(6.1)	3,811(6.6)	4,250(7.1)	4,813(7.8)	5,181(8.4)
愛知県	42,944(6.3)	45,810(6.6)	52,536(7.4)	58,477(7.9)	61,354(8.3)

資料：愛知県の人口動態統計（確定数）の概況

（ ）は死亡率 死亡率＝死亡数÷人口×1,000（人口は各年10月1日現在）

表1-3-5 3大死因別死亡率の状況 (平成24年)

	死亡者総数 (人)	死亡率計	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
半田市	982 (831)	831.8 (700.9)	258.3 (186.4)	137.3 (118.9)	87.3 (51.5)
常滑市	594 (490)	1,065.9 (896.6)	278.1 (256.2)	186.6 (179.3)	86.1 (75.0)
東海市	800 (672)	727.6 (622.3)	225.6 (168.5)	108.2 (97.2)	70.0 (79.6)
大府市	571 (549)	657.9 (650.5)	199.3 (208.5)	100.2 (100.7)	49.5 (66.3)
知多市	680 (572)	806.9 (669.0)	256.3 (246.8)	92.6 (70.2)	94.9 (65.5)
阿久比町	228 (198)	857.6 (794.0)	270.8 (244.6)	120.4 (176.5)	60.2 (52.1)
東浦町	389 (330)	781.8 (665.3)	231.1 (243.9)	132.6 (100.8)	62.3 (58.5)
南知多町	318 (292)	1,609.2 (1,404.7)	409.9 (341.6)	283.4 (279.0)	96.1 (115.5)
美浜町	243 (225)	981.3 (880.0)	189.8 (242.5)	214.0 (191.6)	113.1 (70.4)
武豊町	376 (310)	884.3 (733.5)	268.1 (227.2)	138.8 (132.5)	84.7 (45.0)
当医療圏	5,181 (4,469)	838.1 (727.5)	243.5 (218.3)	130.2 (121.4)	76.7 (65.6)
愛知県	61,354 (55,189)	826.2 (764.4)	243.8 (233.9)	116.5 (111.5)	75.2 (76.8)

資料：平成24年人口動態統計

注：死亡率は人口10万対比、()は平成21年人口動態統計(確定数)

第4節 保健・医療施設

当医療圏内には、平成25年10月1日現在、2保健所（1保健分室）、市町保健センター10施設、病院19施設、一般診療所375施設、歯科診療所数254施設、助産所11施設、薬局219施設が設置されています。（表1-4-1、図1-4-①）

平成27年度、東海市民病院と知多市民病院は統合して、公立西知多総合病院が開設される予定です。

（参考図表）

表1-4-1 保健・医療施設（平成25年10月1日）

	保健所 (保健分室)	市町保健 センター	病院	一般 診療所	歯科 診療所	助産所	薬局
半田市	1	1	4	82	50	7	53
常滑市	—	1	1	36	21	—	22
東海市	—	1	2	65	44	1	28
大府市	—	1	4	56	38	1	32
知多市	1	1	2	42	34	1	32
阿久比町	—	1	—	23	10	—	14
東浦町	—	1	1	29	19	1	14
南知多町	—	1	1	11(2)	10(2)	—	6
美浜町	(1)	1	2	8	11	—	8
武豊町	—	1	2	23	17	—	10
当医療圏	2(1)	10	19	375	254	11	219

資料：病院名簿（愛知県健康福祉部）、保健所調査。

注1：保健所の（ ）は保健分室で外数、南知多町の（ ）内は離島内診療所数再掲。

注2：診療所には保健所及び市町保健センターの数を含む。

図1-4-① 主な保健・医療施設のプロット図（平成25年10月1日）

